# 町長室から こんにちは

新得町長　浜田正利

8月30日に「台風10号災害対策本部」を設置し、職員全体が災害対応を最優先して様々な対応にあたってきましたが、断水の解消、健康被害調査の終了もあり9月30日に対策本部を解散しました。10月1日からは「復旧・復興会議」を設置し、日常業務と並行しながら、所管している公共施設などの災害復旧・復興対策を進めています。一ヵ月の災害対応の中で私自身も実感した三点を報告します。

一点目は、「水は重たくて大切なもの」でした。大雨の影響で断水が続きましたが、9月14日から生活用水の利用、18日からは飲み水としての利用も可能になりました。多くの町民の方から「水運びには参りました。トイレと炊事に水をこんなに使うとは初めて知りました。水の大切さを実感した」とのことでした。私自身も水がこんなにも重たくて、大切なものなのかと身にしみて感じました。

二点目は、「町民の方、ボランティアの方、自衛隊員、全国の方からの協力」についてです。給水所まで水を取りに行くのが大変な方が沢山いました。そんな方のために町内会の方や、知人、友人が水を届けてくれたりしたそうです。また、給水所に水を取りに行った際には、自衛隊員やボランティアの方などが水の入った重たい容器を車まで運んでくれたりして大変助かったとのことでした。その他にも流木処理、汚泥処理など周囲の方を含め、自衛隊員、ボランティア、民間企業等々のご支援が無ければ難局を乗り越えることが出来なかったとの事でした。私自身も非日常の生活は一人では成り立たない事を実感したところです。

三点目は、自然の猛威です。何人かの年配の方から、新得に来てこんな被害は初めてとのお話をいただきました。私自身も何カ所かの被害現場に行ってきましたが、今まであったものが姿形を変えていました。また、新得町、清水町、芽室町の被災地をヘリコプターで上空から視察する機会がありましたが、牙をむいた自然の力とはこんなに凄いのかと驚くばかりでした。これからは被災をされた方の生活支援を最優先にし、経済的な被害の実態把握にも努めながら、関係する方々と相談をし、町民の皆さんが一刻も早く普通の生活に戻れるよう対応をしていきます。また、対策本部としての初期対応を含め課題もありましたので、今後のためにも検証を進めていきます。これまでの間、町内会長さんを始め多くの方々にご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。

## 短歌

新得短歌会

花つぼみ指でちょこんとごあいさつ
無言で愛でる待てる喜び
岡田御狸裸

断水の続く水害あと水を
持ちくれる人に感謝す我は
高橋　幸子

地球には責めは無かりき誰にもと
原因を識る等しくてあり
小関　白潮

ぎんさん（亡母）が両手広げて仁王立ち
ぐーっとふんばりここは通さん
荒木　風月

こりこりと音あるがごとイカ刺しの
夜の函館風をも旨し
小野　洋子

台風の断水ながき生活あり
妻の実家より水届けらる
石本　洋

ゴウゴウと濁流逆巻き岸穿つ
友のため息吹なら覚めよ
菊地　康雄

身にあまる好意あふれて次世代の
ボランティア力輝く庭に
斉藤美代子

## 俳句

新得俳句同好会

秋霖の蝦夷にも入梅ありしかな
片桐　波月

街路樹の伸びて伸び切り夏を脱ぐ
高橋　民女

コスモスの揺れは指揮者のいる毎し
月井　愁峰

真夜中の根こそぎ被害秋出水
渡辺アヤ子

土嚢並ぶ川辺の流れ秋の風
斉藤　青若

刈込し庭木に赤き一位の実
袴田ゆき男

台風や鉄橋弾け身の毛立つ
大崎かずお

諍いしことも思い出秋深む
八木　育子

デパートの売り場秋めく回遊魚
中島　土方



# 話題のアルバム

## 演奏を聴いて元気になってほしい

新得ジュニア吹奏楽団がひまわり荘を訪問

新得ジュニア吹奏楽団（大倉ひなた団長）11人が9月19日、養護老人ホームひまわり荘を訪問しました。毎年敬老の日に合わせ、同施設を訪問しています。

今回はどう施設利用者に楽しんでもらうかを考えながら6年生が司会と演奏を決め、ダブルそうた（日下蒼太くん、渡辺奏太くん）の司会進行や「君の瞳に恋してる」など4曲の演奏で利用者ら約50人を元気付けました。

大倉団長は「演奏を聴いて元気になってもらえたら嬉しい」と話し、利用者の中には「孫の演奏を聴いているようで楽しかった」と話している人もいました。

## 迫力のアメ車たちが大集合

第5回アメマガミーティング・イン・サホロ

第5回アメマガミーティング・イン・サホロ（同実行委員会主催）が9月18日、町農道離着陸場で行われ、道内各地からアメリカ製輸入車（通称アメ車）およそ150台が集結しました。この日は雨が降ったり止んだりのあいにくの天気でしたが、アメ車ファンを中心に大勢のお客さんが訪れていました。また、当日、来場者から台風災害義援金を募ったところ50,348円が集まり、同実行委員会代表のジャック及川さんが9月26日に町長室を訪れ、義援金を浜田町長に手渡しました。

## 難関に49人が合格

平成28年度素人そば打ち四段位技能審査新得認定会

一般社団法人全麺協主催の「平成28年度素人そば打ち四段位技能審査新得認定会」が9月24日、25日の両日、町民体育館で開かれ、道内外から93人が審査に臨みました。

この認定会は、新得町で初めての開催で、制限時間40分のうちでそば打ちの「水回し」、「こね」、「のし」、「切り」の工程や衛生面、打つ姿勢が審査され、最高位に次ぐ難易度の中、49人が合格を手にしました。

埼玉県から参加した柏崎静雄さんは「水の量を失敗してしまった。北海道と埼玉の湿度の違いが影響したかな。良い勉強になった」と話していました。

## 園児と大学生、外国人が交流

国際ワークキャンプの外国人が新得保育所を訪問

共働学舎に国際ワークキャンプで来ている社会人のクロエさん（フランス）とミゲルさん（メキシコ）、大学生の川崎大輔さん、長岡里帆さん、坂本早希さんが9月8日、新得保育所を訪れ、園児らと交流を図りました。

ジャンケンで勝ち負けを決め、負けたら相手の肩に掴まってどんどん列になる「ジャンケン列車」やみんながマネをしている一人を探す「しきしゃ」などのゲームを行い、園児と一緒にみんなで大はしゃぎしていました。

最後に5人から「ゲームはどうでしたか？」と聞かれると園児たちは「楽しかった」と口々に答え、お別れの時間になると名残惜しそうにしていました。